

## 第4次真庭市行政経営大綱パブリックコメント 提案及び回答

提案①	資料の19Pに用語解説を付けていただいたことに深く感謝いたします。 しかしながら、やはり、できる限り日本語でお願いしたいと思います。
回答①	わかりにくい表記について再度確認し、必要に応じて表記の変更や用語解説の追加をします。
提案②	私が提言させていただきたいのは、8P第5章 具体的取組施策の項目についてです。 デジタル化は将来的に必要である事はわかりますが、従来のやり方も必要であれば2本立ても必要であるように思います。70歳代の人にデジタル化の説明は逆に効率はよくありません。
回答②	ご指摘いただいたように、デジタル技術の活用にあたり、高齢者やデジタル技術が不得意な人が取り残されないよう配慮しながら進めていきます。
提案③	職員の人材育成について、真庭市の男性職員に真庭市にいてもらいたいことは良く解りますが、人材育成に支障があっては問題であるように思います。具体的に申しますと、窓口での職員たちの対応は誠に近年良くなってきていると思いますが、窓口でなく奥におられる方の対応についての言葉の使い方、失礼な対応が特に男性職員に見受けられます。 担当がその方ですから、その方にお目にかかりたい申し上げると、面倒くさいような態度で対応をされる方もおられますことを申し上げておきます。 特別な理由もあるわけでもないのに、バタバタとしていて、これから打ち合わせがあるので、と言って出かけてしまう、そのような人もおられます。9Pの③の市民本位の窓口改革問題は、窓口だけでなく、担当者としての対面相談の基本的姿勢の教育が必要かと思います。 以上の問題は、10P(2)市役所の体質改善・職員の意識改革の問題であると思います。 本庁、支局の窓口も素晴らしい対面相談はできていて、窓口に立ちますと、誰となくすぐに声をかけてくれます。このやり方を他の課の業務担当者は心得ていただけると雰囲気は大きく変化してくると思われれます。高齢者のものは特にすべてが理解しにくくなっていますので助かります。
回答③	ご指摘いただいたことを、人材育成及び市役所の体質改善、職員の意識改革にあたり、参考にいたします。高齢化社会に対応し、住民福祉のための行政経営に努めます。
提案④	14P(1)行政運営の最適化について、目標を上げられて取り組んでいるのであれば、今年度にできたこと、できなかった事を書き上げてチェックしてはいかがでしょうか？できなかったことの原因は何か、会社経営と同じで点検して振り返りも必要ではありませんか？
回答④	ご指摘いただいたように、第4次真庭市行政経営大綱の実現には、点検評価とそれを生かしていくことが重要と考えております。実施にあたり、アクションプランを策定し、第1章第4節 計画について(2)推進体制(6ページ)に記載しているように、CAPDサイクルにより、実施状況を評価し、行政改革審議会(市民代表)と行政改革推進委員会を点検し、次年度以降に生かして行くこととしており、大綱の実現を着実に進めるよう努めます。